

# 青木村消防団広報

## KODAMA

発行/青木村消防団 〒386-1601 長野県小県郡青木村大字田沢111 TEL.0268-49-0111  
発行責任者/沓掛俊一朗 編集/青木村消防団本部班

No. 28

発行：令和元年10月1日

### 青木村消防団によせて

青木村消防団長 沓掛俊一朗



村民の皆様には、日頃より消防団活動に対し、深いご理解とご協力を頂きまして誠に有難うございます。また、団員のご家族の皆様には、団員の活動を支えご協力を頂いておりますこと、深く感謝申し上げます。

本年度も約半分が過ぎました。上半期の中には火災出動二件の緊急出動がございましたが、皆様のご理解とご協力により、団として無事、任務を遂行することができました。本当にありがとうございます。これからも青木村が安心・安全に過ごされますよう団員一丸となり活動して参ります。

動して頂き、現場付近での車両誘導や可搬ポンプの操作など消火活動に御尽力いただきました。二日間に渡る消火活動でしたが、団員を始め機別団員が全力で消火活動をする姿を見た時、強く感銘を受けました。本年度、残りの日々も村内企業に向き、PR活動やお願いに伺いたいと思います。

時代に合わせた変革は常に必要なことで、今後も実行していく所存でございます。全国的にも自然災害が増加し大規模化している中、消防団の必要性は増してまいります。消防団を取り巻く状況には難しいものがありますが、組織改革などを進め、私たちの根底にある「自分達の村は自分達で守る」という郷土愛護の精神のもと、より安心で安全な青木村を目指す為に、これからも団員一丸となって活動してまいりますので、村民の皆様温かいご支援、ご協力のほどよろしくお願致します。

## 消防ポンプ操法・ラッパ吹奏大会 結果報告

### 第56回 青木村消防ポンプ操法大会

- 【小型ポンプの部】  
優勝 第2分団  
準優勝 第1分団
- 【自動車ポンプの部】  
技能賞 第1分団



山浦和貴さん

### 第40回 青木村消防ラッパ吹奏大会



- 【団体の部】  
優勝 第2分団 A  
準優勝 第2分団 B  
第3位 第1分団 B  
努力賞 第1分団 A
- 【個人の部】  
優勝 第2分団沓掛部 菅原将仁さん  
準優勝 第2分団入奈良本部 堀内 勉さん  
第3位 第1分団村松部 松田和也さん  
努力賞 第2分団入田沢部 岩垂優一さん

### 第61回 長野県消防ポンプ操法大会 上小地区大会

- 【小型ポンプの部】  
第13位 第1分団  
第14位 第2分団
- 【自動車ポンプの部】  
第7位 青木村消防団ポンプ車班

### 第42回 上小消防ラッパ吹奏大会

- 【団体の部】 第4位 青木村消防団
- 【個人の部】  
第5位 第2分団沓掛部 菅原将仁さん  
第8位 第2分団入奈良本部 堀内 勉さん

出場された選手の皆さん大変お疲れ様でした。  
また、選手を支え、ご声援をくださった御家族をはじめ地域の皆様に深く感謝申し上げます。

# 分団長とくわんじゅん

■第一分団長 小林 淳



早いもので、本年度も約半分が終わろうとしています。私共、消防団にとって無火災・無災害で何事もなく平穩に過ごすことが一番の願いであります。

残念ながら今年も、発足間もない四月と五月に火災が起きてしまいました。何れの火災も大惨事には至らず、皆様の協力もあり無事に消火できたわけですが、私にとって、この火災は本年度の消防団の体制を整える訓練だったのではないかと感じております。

現状、青木村消防団は年々、団員の減少が深刻な問題になっております。あの手この手を尽くして、「自分たちの村は自分たちで守る」精神で活動しておりますが、人員不足による団員一人一人の負担増加は否めない状況です。そうした中、本年度から地元企業の皆様からなる

「機能別消防団」が本格的な活動をしていたいております。団員もそれぞれに主に村外で働

きながらの消防団活動を行っている中で、青木村でいち早く初期消火にあたっていただけである「機能別消防団」の発足は青木村消防団、いや青木村にとって素晴らしい革命だと思えます。山林火災のような海戦術が要となる火災において、機能別消防団の皆様が存在は非常に重要になってくるはずで

す。第一分団としては今後、このような村を守っていただけの皆様と連携しながら、緑豊かな青木村と村民の皆様を最善最速で火災・災害に対応する事を守っていければと思っております。今後とも、青木村・村で暮らす皆様・村で働く皆様のご理解ご協力と温かい支援のほど宜しくお願い致します。



■第二分団長 山浦 栄二



本年度になり、第二分団長として約半年が過ぎましたが、まだまだ分団長として意識を高めようと消防団活動を頑張っています。

日々の消防団活動において、村民の皆様方には深いご理解ご協力に誠にありがとうございます。さて、昨年同様に地球温暖化によりいくつもの災害が発生しております。有事の際において消防団員は常に防災意識を持ち、訓練、広報活動を行っています。

自然災害はいつ起こるかわかりませんが、火事にならない様にする事は出来ると思えます。火の用心は一人一人の心掛けで火災を防ぐ事が出来ま

ばと思っております。

## ラッパ吹奏

■第一分団 村松部  
ラッパ隊 松田 和也



私はラッパに携わり八年目となりますが、近年は団員数の減少によりラッパ隊も人数が減少してきています。上小地区の他のチームと比べても少人数で活動しています。

そのような状況で今年も協力員の方々にも練習に参加していただきました。以前ラッパの仲間として一緒に練習を重ねた先輩方とまたラッパを吹くことが出来たことを嬉しく思います。しかも、上小大会では出場一〇チーム中四位という素晴らしい成績をおさめることが出来ました。これも少人数だからこそその結束力のためものと思っております。

ラッパ隊の仲間、応援してください。ラッパ隊の仲間、応援してください。ラッパ隊の仲間、応援してください。



員減少は大きな問題です。その為に消防団員、女性消防団員を募集しております。一人でも多く一緒に活動をして頂ける仲間を待っております。「私達の住む村は私達で守る」と郷土愛を持ち、我こそは、と感じる仲間と一緒に活動を通じ地域とのコミュニケーションをとっていきましょう。

## ポンプ操法

■小型ポンプ 第一分団  
指揮者 杏掛 智明  
(村松部)



中、限られた人数で始まった今年度の第一分団小型ポンプ操法。選手は操法初心者二名に、そして、全員が初めて担当する番員で、ほぼ一からの出発となりました。また、仕事や怪

■第二分団 杏掛部  
ラッパ隊 菅原 将仁



春から夏への変わり目を感じさせてくれる行事としてすっかりお馴染みのものとなり、本年もラッパ手として迎えました。この度は新たな形として現役団員と協力員の先輩方が垣根を越えて一緒に選手として練習大会まで取り組んで参りました。

昨年、団員数の減少が顕著な中で、新しい令和の始まりに新たな形にチャレンジし、心一つに団結し成功できたことは、大変嬉しく感じました。また、新たな変化として、本年度私達は「ラッパ班」から「ラッパ隊」へと格上げをして頂きました。

ここに込められた期待と役割を認識し、村民の皆様を安心安全を守る一翼を担っていききたいと思っております。

最後に日頃の消防団活動にご理解ご協力を頂いております村民の皆様、大会期間中ご指導ご声援を頂きました皆様に感謝申し上げます。

我などで選手全員が練習に揃うことが難しく、練習不足には悩みました。しかし、約三ヶ月間の練習を重ね、選手の技術向上、第一分団として団結力を高める事ができました。上小大会では練習以上の成果を残せる事ができました。

■小型ポンプ 第二分団  
指揮者 堀内 巧  
(下奈良本部)



遂に指揮者をやった年がやってきました。不安の中からのスタートでしたが、操法未経験の三人はメキメキ上達し、そんな不安もすぐに消えていきました。個々の努力や能力の高さもありますが、なにより今年には主に

■ラッパ団体指揮者 第二分団 入奈良本部  
落合 福太郎



団員数が減少する中、大会の出場規定の大きな壁がありました。今年、ラッパ経験のある協力団員さんと共に力を合わせての大会出場となりました。講師の先生方、消防署の職員の方々をはじめ、たくさんの方々のご指導を受ける中で、意見の違いもたくさんあり、吹奏の音作りに苦労していたと思えます。

次第にまとまっていく連帯感。メモ書きだらけになった楽譜。上小大会での結果を残せたのは、頑張ってくれた隊員の皆さんの力です。自分は、その想いをタクトに預けたまでです。令和元年という記念すべき年に、本当に頑張ってくれた皆さんに感謝します。そして、おめでとうございます。



# 分団長とくわんじゅん

■第一分団長 小林 淳



早いもので、本年度も約半分が終わろうとしています。私共、消防団にとって無火災・無災害で何事もなく平穩に過ごすことが一番の願いであります。

残念ながら今年も、発足間もない四月と五月に火災が起きてしまいました。何れの火災も大惨事には至らず、皆様の協力もあり無事に消火できたわけですが、私にとって、この火災は本年度の消防団の体制を整える訓練だったのではないかと感じております。

現状、青木村消防団は年々、団員の減少が深刻な問題になっております。あの手この手を尽くして、「自分たちの村は自分たちで守る」精神で活動しておりますが、人員不足による団員一人一人の負担増加は否めない状況です。そうした中、本年度から地元企業の皆様からなる

「機能別消防団」が本格的な活動をしていたいております。団員もそれぞれに主に村外で働

きながらの消防団活動を行っている中で、青木村でいち早く初期消火にあたっていただけである「機能別消防団」の発足は青木村消防団、いや青木村にとって素晴らしい革命だと思えます。山林火災のような海戦術が要となる火災において、機能別消防団の皆様が存在は非常に重要になってくるはずで

す。第一分団としては今後、このような村を守っていただけの皆様と連携しながら、緑豊かな青木村と村民の皆様を最善最速で火災・災害に対応する事を守っていければと思っております。今後とも、青木村・村で暮らす皆様・村で働く皆様のご理解ご協力と温かい支援のほど宜しくお願い致します。



私以外の選手は昨年選手を経験しており、初心者も私だけでした。みんなの足を引っ張らないようにしなければならぬと、一生懸命訓練に励んで、ベストタイムもどんどん更新できるようになっていました。

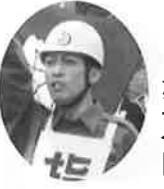
今年のポンプ車班は、過去最高順位を目指せるという思いが選手の中で出ていました。そんな思いになれたのも本部の皆様、またOBの皆様の優しいご指導があったからこそだといふ感謝しております。

しかしながら上小大会の結果は昨年と同じ。少し調子に乗っていたみたいです。申し訳ございませんでした。残念ながら結果を残すことは出来ませんが、この訓練中に得た絆と技術は裏切りません。青木村の安心はこのポンプ車班にお任せください！この記念すべき令和元年にこのメンバーで選手をやらせて頂いたことを本当に感謝しております。ポンプ車班は分団の垣根を超えて、色々な方々と仲良くなれるとていい場所です。

来年度も和気藹々と出来るようなポンプ車班になっていければ

りました。

■自動車ポンプ指揮者 第一分団 夫神部



山浦 和貴  
ポンプ車班 結成二年目、昨年から引き続きポンプ車班に任命されました。そして今年、ポンプ車班指揮者として活動することになりました。

# 青木村消防団へようこそ！

令和元年度青木村消防団新入団員より  
ひと言ずつ頂きました。

## ■第一分団

小泉 太佑さん (27歳)



今年度から第一分団村松部に入団しました小泉太佑

です。昨年地元に戻ってきたことを機に入団させていただくことになりました。職場が村内にあるので万が一の有事の際はいち早く駆け付け、少しでも地域の皆様のお役に立てるよう努めていきたいと思えます。

また、若い人が少ない中で縦のつながりや横のつながりを大事に活動していきたいと考えています。わからないことばかりですが、迷惑をおかけすると思いますが、今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

## ■第一分団

尾和 嘉彦さん (36歳)



今年度から第一分団村松部に入団致しました、尾和

嘉彦です。昨年、村松区に引越してきたことを機会に入団させて

頂く事になりました。わからない事だらけでご迷惑をおかけ致しますが、諸先輩方にご指導いただきながら消防活動に努めたいと思います。また、地域の皆様との交流を通じて、生まれ育った青木村の為に貢献していきたいと考えておりますので、宜しくお願い致します。

## ■第二分団

沓掛 司さん (20歳)



今年度から第二分団沓掛部に入団しました、沓掛司

です。入団してしばらくの間は、不安でいっぱいでした。でも、先輩方に温かく接していただいたお陰で、今では楽しく活動することが出来ています。

まだまだ分からないことも沢山ありますが、多くの活動に積極的に参加し、学んでいきたいと思っております。ご指導のほど宜しくお願いいたします。

## ■第二分団

山口 翔太さん (21歳)

今年度から第二分団沓掛部にお



世話になりました。自分は今学生と看護師をやっているため、消防活動にあまり参加することが出来ませんが、出来る限り参加し、先輩達に迷惑を掛けぬように頑張ります。

## ■第二分団

上原 和久さん (30歳)



今年度から第二分団入田沢部に入団しました上原和

久です。今年は、入団早々に四月の火災現場への初出勤、そして小型ポンプ操法の選手も経験させて頂きました。

上小大会では思うような結果は出せませんでしたが、まだ右も左も分からない私に優しく指導してくださった先輩方には感謝しております。

これから地域の一員、そして消防団員の一人として青木村の皆さんに少しでも貢献できるように努めて参りたいと思っております。よろしく宜しくお願い致します。

## ■第二分団

番場 靖さん (31歳)



今年度から第二分団中挾部に入団しました番場靖

です。上田市から引越越し、二年が経ち青木村の生活に慣れてきたところです。青木村に引越して来ての印象としては、地域の繋がりが濃いことが印象で、地域の役に立てるなら、との思いで消防団に入団しました。消防団活動についてわからないことが多いですが、諸先輩方の助言を頂きながら活動に慣れていきたいと思えます。ご指導よろしく宜しくお願いします。

## ■本部班

浜頭 一仁さん (31歳)



今年度から本部班に入団しました、浜頭一仁です。

行事を中心に活動に少しずつ参加させていただいており、まだまだ分からないことが多く、ご迷惑をお掛けすることもあるかと思えます。これから一つ一つ覚えていきながら、地域に貢献できるように努めていく所存です。どうぞよろしく宜しくお願い致します。

※年齢は令和元年10月1日現在

あなたも消防団に参加しませんか？  
40歳以下の方なら男女問いません。

地域の安心・安全のため共に頑張りましょう！

お問い合わせは青木村役場総務企画課 (NTT・情報電話共通 49 - 0111) まで。

